令和７年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人やまなみ会

くんわ技研

目　次

Ⅰ　はじめに　・・・・・2

Ⅱ　利用者状況　・・・・・2

Ⅲ　事業別報告　・・・・・3，4

Ⅳ　職員状況　・・・・・4，5

Ⅴ　防災・防火訓練報告　・・・・・5

Ⅰ　はじめに

止まらぬ物価高、最低賃金の大幅な上昇、報酬改定、人材不足等々、事業所運営が年々厳しさを増しており、特にA型事業所は、全国で閉鎖や利用者の解雇・退職が相次いでいる現状となっている。そんな状況下、貴重な地域資源として地域に根ざし、利用者が地域で安心して働ける場所の提供、事業所運営に取り組んだ。

Ⅱ　利用者状況

今年度の利用者状況は、就労継続支援A型定員２０名に対し現員１３名、昨年度より３名減。就労継続支援B型定員２０名に対し現員１８名、昨年度より２名増（A型からB型への事業変更）となった。

近年、利用者の高齢化が進み、体力的な衰えが顕著になっており、利用者の体調を考慮した支援体制づくりや介護保険サービスの利用を行った。また、若い人材の確保が不可欠なため、支援学校から実習生３名の受入れを行った。今後も引き続き支援学校・相談事業所・ハローワーク等々との連携を取りながら利用者確保に努めていく方針である。

利用者状況（令和７年度）

事業名	定員数	新規利用	事業変更・退所	現員	平均年齢
A型	20 名	0 名	3 名	13 名	47.9 歳
B型	20 名	2 名	0 名	18 名	57.9 歳

Ⅲ　事業別報告

（１）就労継続支援Ａ型事業

令和７年度のＡ型収益額は前年度より約 32 万円増益（前年度比+1.3%）となった。

内訳は、役務作業が約 12 万減益（前年度比-0.6%）・畳作業が約 45 万増益（前年度比+6.9%）（表 1 参照）。

役務作業は、定期の顧客等例年通りの作業を行い、昨年同様の収益を上げている。畳作業では、依頼数は減ってきているものの、大口の注文（行政関係の入札の獲得）が数件あったことで、前年より増益となった。

また、年々上がっている熊本県の最低賃金も 1,000 円を大幅に超え、1,034 円となった。Ａ型利用者の平均賃金も上昇している。（表 2 参照）

表１

令和６・７年度　　収益			
内訳	令和 6 年度	令和 7 年度	前年度比
役務作業	18,670,373 円	18,543,897 円	-0.6%
畳作業	6,492,426 円	6,945,359 円	+6.9%
合計	**25,162,799 円**	**25,489,256 円**	**+1.3%**

表２

	賃金総支払額	平均賃金	平均利用者数
令和 7 年度	18,071,076	109,522	13.1 名
令和 6 年度	19,458,913	106,917	14.5 名

（２）就労継続支援Ｂ型事業

令和７年度の平均工賃は、昨年度の 25,045 円に対し 25，300 円とほぼ横ばいであった。高齢の利用者の方が増えている為、体調の見極めや作業時間・作業種の調整を行い、一人一人に合ったサービス提供を行った。

清掃作業では、新規の定期作業が入り作業種のバリエーションが広がった。畳・襖・障子作業では、材料費の高騰の為、価格の変更を行った。顧客のニーズにしっかり答え昨年同様の利益を上げることができた。

（３）課題・次年度への提起

就労継続支援Ａ型の生産活動収益が賃金総支払額以下だとスコア表の減点、報酬単価の減額となる為、昨年同様に作業時間の効率化・技術の向上・コスト削減等に取り組んでいく。

就労継続支援Ｂ型については、工賃アップに取り組み平均工賃 28,000 円を目指していく。また、高齢の利用者の体調のチェックを行い、毎日安心して作業ができる環境を整えていく。

Ⅳ　職員状況について

福祉サービス提供者としての基本姿勢・専門的知識・資格習得のための研修に参加し、職員の資質向上に努めた。

令和７年度　研修・会議

月	研修内容	主催	人数
5	熊本県社会就労センター施設長会議	熊本県社会就労センター協議会	１名
5	R7 年度指導監査研修会	熊本県健康福祉部	１名
6	ナイスハートバザール・販売促進研修会	全国社会就労センター協議会	１名

6	安全運転管理者講習	阿蘇警察署	1名
7	障がい者虐待防止のためのオープンセミナー	熊本県障がい者支援課	1名
7	就労選択支援に関する研修会	熊本県障害者就業・生活支援センター	1名
9	熊本県社会就労センター施設長・職員研修会	熊本県社会就労センター協議会	1名
10	仮払機取扱作業者安全衛生教育	コベルコ教習所	2名
10	自立支援協議会 就労支援部会	南小国町	2名
12	A型スキルアップ研修	熊本県障がい者支援課	1名
12	退職共済事業 事務説明会	熊本県社会福祉協議会	1名
2	R7年度熊本県障害者虐待防止マネージャー研修会	セルプ協	1名
3	熊本県社会就労センター施設長会議	熊本県社会就労センター協議会	1名
2	熊本県北部障害者就業・生活支援センター連絡会議	熊本県北部障害者就業・生活支援センターがまだす	1名
3	指定障害福祉サービス事業者集団指導	熊本県障がい者支援課	1名

Ⅴ　防災・防火訓練報告

施設内で火災が発生したとの想定で実践的訓練を令和７年１０月１６日、令和８年３月１７日の計２回実施し、職員、利用者への防災意識向上を図った。次年度も引き続き実践的訓練を行い、防災意識向上に努めていく。

また、地震や台風など大規模な自然災害が発生した場合を想定した自然災害避難訓練を令和８年２月２６日に実施し、連絡網、避難行動等の確認を行った。